

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	職員の家族への接し方や聞き取りが自然で、検討が必要なことは職員間で話し合っているが、記録に残していない。チーム間の共有化を図るためにも、記録とし残し活用化することが課題となっている。	質の高いサービスの提供が行えるよう、意見や要望、希望を記録し、全職員がその内容を把握できるようにする。	意見や要望、希望の大きさに関わらず、その内容や対応を業務日誌に記載し、全職員へ申し送る。又利用者様別の担当者が、介護（看護）記録に転記する。	6カ月
2	11	運営に関する職員の意見や提案は、半年ごとの自己評価表提出時に受け付けることができるようになっているが、上司等との意見交換が十分には行えていない。	施設運営を含めた意見や提案が率直に発言できるシステムと、職員が管理者・主任等と定期的に意見交換できる環境を整える。	・意見や提案等を書き込めるよう『意見箱』を事務室にあるPC（デスクトップ）上に設定する。 ・ひと月に2名程度、管理者・主任等と面談できる機会（30分程度）を設ける。	6カ月
3	33	看取り介護を希望されている利用者様（ご家族様）もおられる為、早急に職員の知識・技術のレベルアップをはじめとした体制の確立が求められている。	グループホーム内で行えるケアの指針（内容や方向性）を再構築し、それを基に研修等を行い、知識・技術の向上に繋げる。	・管理者・主任・看護職員が中心となり、現行のマニュアルを更新する。 ・マニュアル更新後、定期的な研修会（3ヶ月に1度程度）を開催する。	12カ月
4	35	マニュアルに添った消防訓練は行えているうえ、地元自治会との災害協力関係も結ばれているが、相互の防災訓練等への参加は、まだ行えていない。今後、双方が非常災害等を想定した訓練への参加が求められている。	非常災害対策の一環として、地元自治会の自主防災組織との連携を推進する。	自主防災組織会議に参加し、自治会・法人双方が行える支援・協力体制を話し合う。	12カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)